

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年6月25日
タイトル	じょうずに植えたよ！初めての田植え！2018
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年6月5日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組93名が、福山市東村町にある
 かいのあきのり
 水土里ネット福山の組合員の廻野明倫さんのほ場約17aで、田植えの農業体験をしました。

子ども達は、3組に分かれ、一組ずつ田んぼへ入ります。初めて田んぼに入った子ども達は「キヤー」と歓声をあげながら、一步一步田んぼの奥へ進みます。なかなか進めない子は先生やお父さん、お母さんに手を繋いでもらっていました。一緒に入る保護者も田植え初体験の方が多く、足元に気を付けて慎重に歩いていました。

いよいよ田植えとなると、初めは恐る恐る苗を持って土に手を入れていましたが、2列目では慣れてとても楽しそうに植えていました。植える前には自分の足あとの穴をちゃんと均して植えていました。一人3、4ヶ所植えて10列、3チームで約4000株を植えました。



一組が田植えをしている間、ほかの二組の子ども達は応援していました。入れ替わりに田植えが終わった子ども達は、農業用水路で泥を簡単に落としました。

一番に田植えが終わり待っている子ども達は、農業用水路や田んぼのカエルや虫に興味津々でカエルやトカゲ、ミミズなどを捕まえていました。

子ども達の田植えが終わると、廻野さんが田植え機で颯爽と田植えをして見せてくださいました。みんなで2時間かけて植えた面積をビューンと往復したら植えてしまいました。子ども達は、かっこいい田植え機に見入っていました。みんなを代表してお父さんが試乗させてもらいました。感想をお聞きしたところ「すごく速くてびっくりしました。子ども達と植えたことも楽しかったけど、現代の技術力を見ることができてよかったです。」と喜んで

おられました。みんなの田んぼを見守ってくれるようにとカエルとカメを1匹ずつ放流しました。みんな触りたいけど恐いともう大騒ぎになり、大喜びで放流しました。



廻野さんから「これから稲刈りまでの間、自分が植えた稲が成長しているところを見に来てください。」と言われ、子ども達は大きな声で「今日はありがとうございました。」とお礼を言って田植えを終わりました。

子ども達に「今日、足を洗ったり、カエルをつかまえたりした川は、田んぼのために大切なものだけど、落ちるととっても危ないから、いつもは絶対に遊ばないように。」と注意しました。水路転落防止呼掛けのチラシと福山市上下水道局が提供して下さった災害備蓄飲料水「福山の水」は松永幼稚園より保護者の方へ配布しました。



これから子ども達は稲の成長を見守り、秋には稲刈りを体験します。収穫した米でおにぎりパーティーを開く予定となっていて今から楽しみにしています。これらはその都度取材して情報提供してまいります。